

ワンちゃん（イワヤ製）の首骨折治療法

1. 2015.09.21/2022.07.14 改訂
どっかんさん、トミー・マック

1. 外 観

写真を撮り損ねたので、一般例としてイワヤ製の「トイプードル」を示します。

2. 特 徴

イワヤ製のワンちゃん、トコトコ尻尾をゆらしながら前進し、立ち止まって尻尾を激しく振り、次は鳴きながら伏せのアクションをするかわいいトイプードルのあかちゃんです。



3. 故 障

落としたり、踏みつけられたりして、脚の骨折、また脚のメカの軸が折れることが多いですが、今回は重症で首の骨が折れていました。

4. 修 理

ぬいぐるみの剥がし方は、メカの修理のヒント「[ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）](#)」を参照にしてください。

但し、頭部の眼と鼻と口は出来るだけ剥がさないでください。元に戻す時手間がかかり、仕上がりが悪くなります。

今回は、首の治療例を中心に書きました。

（1）ぬいぐるみを脱がすと、

首を上下させ、鳴き声を出すふいごを固定し、しかも頭と係合する、樹脂の「首上下機構の部品」先端の爪部が折れています。

（2）折れた爪部



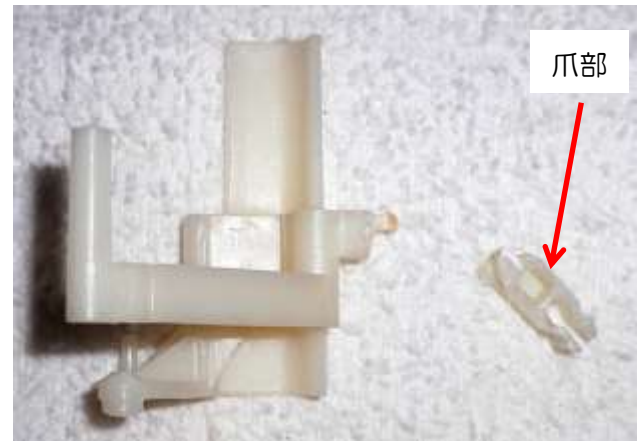
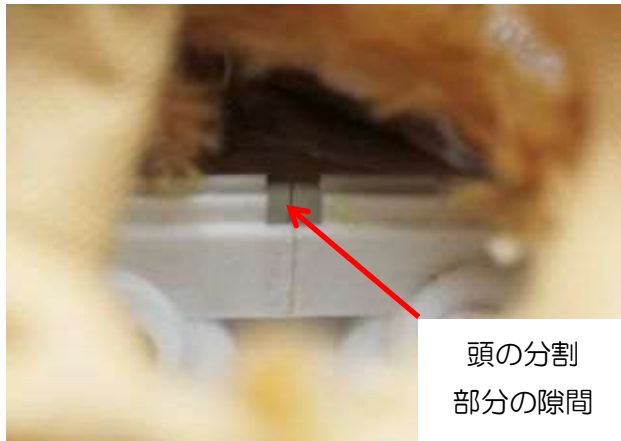
外れた頭部の爪部挿入孔には、折れた爪部が入っていました。それを取り出します。

片手で頭の分割部分の隙間にマイナスドライバーを差し込み、隙間を広げながらもう一方の手で細いラジオペンチなどで引き出します。

爪部を見れば分かるよう、首が抜けられないよう返しが付いています。

ワンちゃん（イワヤ製）の首骨折治療法

これは、爪部を取り去った後の写真。



(3) 割れた部品の縫合

上下する首を固定し、折れるほどの強度がかかる所なので、接着だけでは固定が不十分です。従って、

ステンレス線での縫合

- ・「首上下機構の部品」の割れた爪部と相手とを位置合わせします。
- ・割れた爪部の端面より約2～3mmの所に、ドリル刃φ0.5～0.6mmの孔を数か所開けます。
- ・相手側も同様に、割れた爪部と対抗した端面より約2～3mmの所に、ドリル刃φ0.5～0.6mmの孔を数か所開けます。
- ・「首上下機構の部品」の孔と割れた爪部の孔に、ステンレス線φ0.3mmを通します。

ステンレス線の固定

- ・そのステンレス線φ0.3mmの端の2本を、固定のため捻り、さらにラジオペンチで固く捻ります。あまり固く捻るとステンレス線が切れてしまうので、適度のねじりが必要です。その時、捻った部分が可動部に当たるとか、手に触れることのない位置にします。



(4) 縫合部の接着固定

割れた部分を縫合するだけでは、強度が不十分なので、今回は、

- (a) 金属やカーボンなどを超強力に接着できる2液アクリル系の接着剤を使いました。特にステンレスやアルミニウムや鉄などによく接着します。ネジ・リベット・溶接に代わる接合が出来るようです。



ワンちゃん（イワヤ製）の首骨折治療法

その他にも、

(b) 金属やポリプロピレンが接着できる「PPX」でステンレス線の部分を固定する。



(d) 樹脂部品の割れや欠けなどの補修に使う、造形補修材「プラリアパ®」を塗布する。



(c) ポリプロピレン同士は接着できないが、金属を介して、ステンレス線の部分を接着固定する、「多目的補修パテ」を塗布する。



これらの接着方法は、接着固定する場所にかかる力・接着場所の形状・接着面積などによって選べば良いです。

接着する場所にかかる力が小さければ、グルー(接着剤)でも良いし、かかる力が大きければ太いステンレス線やアルミ板などで添え木としてステンレス線を縛ることも考えなければなりません。

今回の接着後の状態。

→



(5)「首上下機構の部品」の固定

「首上下機構の部品」を、本体にピンを挿入し固定します。



ワンちゃん（イワヤ製）の首骨折治療法

(6) 頭部の固定

「首上下機構の部品」の爪部を、頭部の爪部挿入孔にカチッと音がするまで押し込みます。



(7) 本体の組立てと

ぬいぐるみを着せ

ぬいぐるみの固定

後は、メカの修理のヒント「[ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）](#)」を参照にしてください。

完成

終わり